

オペラ、ミュージカル公演

昭和六十二年の秋、ロンドンのアポロビクトリアで開幕し、超ロングランを続けていたミュージカル「スターライトエクスプレス」の公演が行なわれ、音楽もロックンロール・ブギ、カントリー、ブルース、バラード、テクノポップ、ラップ、ゴスペルと実に幅広いものであった。

平成元年の秋、グランドオペラ「カルメン」公演が行われ、ナショナル・フィルハーモニー管弦楽団、アンブロジアン・オペラ合唱団、スペインからはフラメンコ・ギターリストの参加があり、素晴らしい演奏、合唱を披露した。

その後のオペラ公演として、平成元年十二月、名歌手マリア・キアラによる「アイダ」、続いて、平成三年秋の「トゥランドット」公演には、百二十名のコーラス、百三十名のオーケストラにより壮大な歌劇が演じられた。

おわりに

十年一昔、この間多くの一流アーティストを迎えて素晴らしい公演を繰り広げてきたわけであるが、施設側としても大過なく行えたことは、アーティストは勿論のこと、主催者、裏方（音響、照明、舞台、警備、場内案内人等）の皆さん、又、警察、消防等関係者の方々のご尽力のお蔭であり、誌面をお借りして、深く感謝申し上げます。

今後は、第一体育館とともに旧子供水泳場跡地（予定）を含めて、文化的行事の利用も高まるものと思われ、施設、園地の効率的利用と見地から、スポーツは勿論のこと各界の期待に応えるべく一層の努力をはらってまいりたい。

業務課 赤谷達夫